

## 1 単元名 私たちの生活と政治

## 2 目標

地域の市民センター建設や国の政治に関心を持ち、政治の仕組みや人々の願いについて調べたり、議会・行政・選挙・税金の働きと国民生活とを関連させて考えたりすることを通して、国や地方公共団体の政治の働きによって国民生活の向上が図られていることがわかる。

## 3 単元について

## ○ 児童の実態

本学級の児童は、男子17名、女子17名、計34名である。事前のアンケートの「政治と聞いて連想すること」という質問では、総理大臣や各政党の名前が多く挙がり、「政治とは何か」という質問に対する答えでは、「世の中をまとめること」が8名、「国のことを決めること」が5名いた。また「私達とどのようなかかわりがあるか」という質問では、大半の児童が「わからない」と答える中で、税金について答えた児童が5名いた。児童はニュースなどから、政治に関する言葉や人物の名前を知っており、政治は何となく国や国民にとって大切なことのように感じているが、同時に自分達とは遠いことのようにも感じている。

児童は今まで歴史学習を通して根拠をもって学級全体の中で話し合う活動を行ってきた。例えば平氏政権から鎌倉幕府の成立までの学習では、ノートや資料を振り返ったり、メモをとったりしながら話し合いに取り組んできたことで、既習事項や友達との考えと比較・関連させながら考えることが徐々にできるようになってきている。また、室町時代や江戸時代の文化の学習などを通して、学習したことを現在につながることで、自分自身と関連させて考えることができる児童も増えてきている。

## ○ 教材観

本単元は学習指導要領の内容(2)のアにあたる。政治の働きと住民・国民の生活との関係を理解し、政治への関心を育てることをねらいとしている。

本校では校舎改築に伴い、常磐地区の市民センターが併設されたが、その経過については知られていない。市民センターは常磐地区の人々の願いをもとに市議会で話し合いが行われ、税金を予算とし、行政としての市が建設を行った。また国も補助金を通して建設にかかわった。それら全てが市民生活の向上やよりよい地域づくりという視点で行われてきた。

児童にとって身近な市民センター建設を取り上げ教材化していくことで、市の政治と地域の人々の生活との関わりを児童が理解できると考えた。また、地方公共団体の政治と国の政治の共通点に着目させながら、児童の関心をさらに広げて、社会参画の気持ちを育てていきたい。

## ○ 指導観

はじめに、常磐市民センターを利用した経験や完成記念式典の資料をもとに話し合ったり、市民センターをのぞいたりすることで、学校とつながった珍しいつくりになっていることや、今までの公民館にはなかった設備があること、また建設に地域住民がかかわっていることに気づかせる。そして常磐市民センターと常磐小はなぜつながっているのかという問いを地域住民の代表への聞き取りを通して追求することで、学校との交流を深め、よりよい地域をつくりたいという地域住民の願いがあったこと、市民センターには住民の様々な願いが反映されていることを児童がとらえていけるようにしていきたい。

次に住民の願いはどのように実現したのか追求していく活動を設定していく。関係者への聞き取りや文書資料、図などを用いて調べることで、住民、市、市議会の働きや思い、完成までの期間や予算のもととなる税金の働き、国からの補助金などについてつかめるようにする。そして、調べたことをもとに市民センター建設に力をつくしたのは誰なのかを考えることで、住民、市、議会それぞれの働きとかかわり合いによって住民の願いが実現されたこと、住民の願いの実現のために地方公共団体の政治は行われていることに児童が気付いていけるようにしたい。さらに関心を国政へとつなげ、国会、内閣、裁判所の働きや国民生活とのかかわりを調べることで、国の政治もまた国民の願いを実現するためにあることや、国民の生活向上、公共の維持のためにも政治に参加していくことが大切であることに気付かせたい。

学習では活動内容によって個人やグループ、学級全体と学習形態を工夫し、協力して調べたり、調べたことをもとに考えたり、伝え合ったりしながらねらいにせまられるようにしていく。特に話し合い活動を多く取り入れることで、児童がより多くの意見に触れたり、自らの考えの変容に気付いたりしながら、お互いに考えを深め、伝え合うことができるようにしたい。

学習を通して調べたり、考えたりしたことは、内容ごとに色別のカラー付箋に記入し、学習カードに貼って整理していく。新たな疑問や考え、補足などがあつた場合は付箋を追加して同じ紙面を再構成できるようにする。またカードは折りたたみ式で1枚にし、広げれば学習の積み重ねが確認しやすいようにする。加えて既習事項や全体を俯瞰する資料を教室に掲示し、学習カードと併せて活用できるようにする。そうすることで調べたことを根拠や理由にしたり、友達や今までの自分の考えと比較・関連させたりしながら考えを深められるようにしたい。

4 「みえる」「わかる」子どもの姿

<p>みえる わかる</p>	<p>「国でも地方公共団体でも、住民の生活の向上のために議会や行政などがそれぞれの役割を担っており、それら政治の働きによって、人々の願いが実現されているのだな。私たちの生活の維持・向上や地域の発展のために、積極的に政治に参加していくことが大切なのだ。」</p>					
<p>考える</p>	<p>常磐市民センターはどのようにして常磐小の隣にできたのだろう。 ①～⑥</p>	<p>国の政治のしくみは、どうなっているのだろう。 ⑦～⑨</p>	<p>政治とはなんだろう。 ⑩</p>			
<p>見える・分かる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が建設計画や予算案をたてて、議会に提出したこと</li> <li>・ 市は議会で決定したことを実行したということ</li> <li>・ 市は住民と話し合いながら建設を進めたということ</li> <li>・ 市は市民センターを拠点として、豊かなまちづくりを目指していること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会で住民の要望を受けて市民センター建設が提案されたこと</li> <li>・ 議会で市民センター建設や予算が決まったということ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの住民が市民センターを利用していること</li> <li>・ 市民センターの建設や設備には住民の願いが反映されていること</li> <li>・ 常磐小学校との併設には、交流を深め、よりよい地域にしたいという住民の願いがあったこと</li> <li>・ 住民は議会への陳情や市との懇談を通して願いを伝えたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国は補助金を通して市民センター建設にかかわったということ</li> <li>・ 計画から完成まで時間をかけてつくられたこと</li> <li>・ 私たちが払っている税金が予算として使われているということ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会・内閣・裁判所の働き</li> <li>・ 政治の働き、選挙の仕組みと、それらの関連</li> <li>・ 国会議員は、住民(国民)の代表者として選挙で選ばれていること</li> <li>・ 投票率の低下の問題</li> <li>・ 選挙は、わたしたちの願いを実現させるために大切なものであるということ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政治には、住民(国民)の願いが反映されているということ</li> <li>・ 政治は、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること</li> <li>・ 進んで政治に参加することが大切であるということ</li> </ul>
<p>学習材</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 完成記念式典の資料</li> <li>○ 他の市民センターの写真や資料</li> <li>○ 今までの常磐公民館の資料</li> <li>○ 常磐市民センターの写真、設計図</li> <li>○ (市民センターの設備や間取り)</li> <li>○ 住民代表の話(住民の願い)</li> <li>○ 地域の会報(住民の活動)</li> <li>○ 市の建設計画</li> <li>○ 市の担当者の話(住民との調整)</li> <li>○ 常磐市民センター建設予算の資料</li> <li>○ 市長のインタビュー記事(市の方針)</li> <li>○ 市議会議員の話(議会での提案)</li> <li>○ 水戸市議会報(議会での決議)</li> <li>○ 国の補助金についての資料</li> <li>○ 税の仕組みについての資料・図</li> </ul>					

5 評価規準

- 地域の公共施設の建設に関心をもち、地域住民の願いや施設建設の過程と、地方公共団体や国の政治の働きとの結びつきを追究しようとする。 (関心・意欲・態度)
- 地域の公共施設の建設や国の政策に、住民や国民の願いがどのように反映されているかを具体的にとらえ、公共が実現されるまでの経過を議会・選挙・税金の働きと関連させて考えたり、文章や図を用いて表現したりしている。 (思考・判断・表現)
- 見学や聞き取り、資料の収集や活用を通して、政治の働きと国民生活との関係を調べている。 (技能)
- 地方公共団体や国は、住民や国民生活の向上のために、人々の願いを取り入れながら様々な機関と協力して望ましい施策を実現していることがわかる。 (知識・理解)

6 単元の指導と評価の計画 (10時間)

(①・②は時数, ◇は評価)

①	<p>常磐市民センターをのぞいてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民センターについて知っていることを話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校とつながっているのは、とても珍しいようだね。</li> <li>・ 完成記念式典で地域の代表の人が「住民の願いがかなった」と言っていたよ。</li> </ul> </li> <li>○ 市民センターをのぞいて、気づいたことや疑問に思ったことを話し合おう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授乳室や多目的トイレなど、今までの公民館にはない施設がいろいろあるね。</li> <li>・ 様々な講座も予定されているよ。</li> <li>・ なぜ常磐小とつながっているのだろう。なぜつくられたのだろう。</li> <li>・ 建設にいくらかかっているのだろう。</li> </ul> </li> </ul> <p>常磐市民センターはどのようにして常磐小の隣にできたのだろう。</p>	<p>◇ 常磐市民センターに関心をもち、学習課題を立てている。 (関・意・態)</p>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住民の代表者にインタビューしよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校と地域が交流を深め、よりよい地域をつくるため、学校と併設してほしいという地域住民の願いがあった。</li> <li>・ 市民センターは他にも住民の様々な願いを取り入れてつくられている。</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇ 市民センターの設備や活動には住民の願いが反映されていることを理解している。 (知・理)</p>
③	<p>住民の様々な願いはどのように実現したのだろう。</p>	<p>◇ 資料から市民センター建設への人々の働きや思いを読み取っている。(技)</p>
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民、市、議会それぞれの働き</li> <li>・ 国の補助金 補助金のもとになる法律</li> <li>・ 市民センターがつくられた期間、建設や運営にかかる予算</li> <li>・ 住民の公共へのかかわり方としての税金の働き</li> <li>・ 市民センター建設にかかわる住民、市、議会それぞれの考えや思い</li> </ul>	<p>◇ 税金の仕組みを理解している。(知・理)</p>
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことを伝え合い、自分の考えを書こう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことを共通理解し、市民センター建設に誰が力をつくしたかということについて、自分の考えを書く。</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇ 住民の願いが市民センターとして実現した理由について考え、表現している。(関・意・態)</p>
⑥ (本時)	<p>常磐市民センターができるまでに力をつくしたのは誰だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市、議会、住民がかかわり合うことで、常磐地区住民の願いが集まった市民センターは作られたんだね。</li> <li>・ 市の政治は住民の願いを実現させるためにあるんだね。</li> </ul>	<p>◇ 市民センター建設を通して、地方公共団体の政治の働きや目的について考え、自分の言葉で表現している。(思・判・表)</p>
⑦	<p>国の政治は私たちの生活とどのようなかかわりがあるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会の様子をテレビで見たことがあるよ。</li> <li>・ 国の政治も市の政治と似ているところがあるのかな。</li> <li>・ 税の使い道はだれが決めているのかな</li> </ul>	<p>◇ 国の政治に関心をもち、市の政治をふまえて学習課題を立てている。(関・意・態)</p>
⑧	<p>国の政治の仕組みはどうなっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会・内閣・裁判所の仕組みについて調べる。</li> <li>・ 選挙の仕組みを調べる。</li> </ul>	<p>◇ 国会と内閣、裁判所の働きについて調べている。(技)</p>
⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調べたことを伝え合おう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国会や市議会・県議会では、人々の生活が向上するように話し合いが行われているね。</li> <li>・ 国民の代表を決める選挙は大切だね。</li> </ul> </li> </ul>	<p>◇ 国の政治や選挙の仕組みや働きを理解している。(知・理)</p>
⑩	<p>政治とは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民センター建設で学習したように、政治は私達の生活向上にかかわっていたね。</li> <li>・ 住民の願いをもとにした行事を考え交流を図るなど、市民センターをもっと活用したいな。</li> <li>・ 私たちの願いを実現させるために、選挙に必ず行くなど、積極的に政治にかかわることが大切だね。</li> </ul>	<p>◇ 国の政治と国民生活とのかかわりについて理解している。(知・理)</p> <p>◇ 政治の働きによって実現させた公共は自分達の手でよりよい形で維持し、生かしていくことが大切であることに気づき、表現している。(思・判・表)</p>

7 本時の指導

(1) 目標

市民センター建設にかかわる人々の働きや願いを振り返り、生活の向上やよりよいまちづくりという常磐地区住民の願いが住民、市、議会のかかわり合いによって実現したことを考えることができる。

(2) 授業づくりの課題

学習の積み重ねを学習カードや掲示物で振り返り、学級全体での話し合いによって多様な意見を交換し合えば、考えが深まり、住民の願いがどのように実現したのか、気付くことができるであろう。

(3) 展開

学習活動・内容	児童への働きかけ・評価
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <p>常磐市民センターができるまでに一番力をつくしたのは誰だろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民センター建設にかかわった人々の働きや願いを掲示資料や学習カード、児童の発表で確認し、本時のねらいにせまれるようにする。</li> </ul>
<p>2 常磐市民センターをつくったのは誰か、学級全体で話し合う。</p> <p>《住民》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター建設を議会に陳情したから。</li> <li>地域の人々の願いがセンターの設備やつくり反映されているから。</li> <li>予算のものは住民の税金だから。</li> <li>交流を深め、よりよい地域にしたいという願いをもっていたから。</li> </ul> <p>《議会》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議会で議決したことで、市民センターが建設されることになったから。</li> <li>議員が議会で提案したおかげで話し合いが始まったから。</li> <li>議員が常磐地区のこれからのことを考えて併設についても訴えたから。</li> </ul> <p>《市》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予算案を出したし、建設が決まった後も、住民の要望を聞きながら建設を進めたから。</li> <li>市民や議会は工事や予算のことは計画しないから、市の働きが大きい。</li> <li>市民センターにいろいろな設備ができたのは、市が進んで住民の意見を聞いたから。</li> <li>市が細かい建設計画を立てて工事が始まったから。</li> </ul> <p>《国》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり交付金という仕組みをつくったおかげで、予算が出たから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の話し合いを通してより考えが深まるように、前時までの自分の意見を学習カードで確認する。</li> <li>誰がつくったと思うかを明確にして、人々の働きや思いを根拠として話すよう助言し、児童がお互いの意見を比較・関連させながら話し合いができるようにする。</li> <li>友達の意見を聞き付箋にメモをすることで、前時までの自分の意見と比較・関連させながら考えを深めていけるようにしていく。</li> <li>考えが深まるよう、自分の意見に変化やつけたしがあった場合も付箋にメモをするように助言する。</li> <li>意見が出ないときには席の近い児童同士での話し合いを取り入れ、考えをまとめやすくする。</li> <li>児童の意見を住民、議会、市、国の立場ごとに分類・整理して板書したり、キーワードを取り上げて全体に投げかけたり、切り返したりすることで、市や議会も住民の願いの実現を目指して市民センター建設にかかわっていたことに気付かせたい。</li> <li>地域との連携や、それをもとにした地域づくりなどの視点をもつ意見は、復唱したり、言葉の意味を掘り下げるような発問をしたりすることで単元のまとめにいかせるようにする。</li> </ul>
<p>3 話し合いをもとに自分の意見を付箋にまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常磐地区の住民には便利で豊かな生活と、安心できる地域づくりへの願いがあった。住民、議会、市や国の働きがあったから常磐地区の住民の願いは実現した。</li> </ul> <p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常磐地区住民の願いは市の政治の働きによって実現した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時までの意見と比較して本時の意見がまとめられるように、メモの中で新たに加わった視点やキーワードの部分に線を引くよう話す。</li> <li>本時の考えを書いた付箋を前時の考えを書いた付箋の隣に貼り、考えの変化に気づくことができるようにする。</li> <li>⑧ 生活の向上やよりよい地域づくりという住民の願いは市民、議会、市がかかわり合うことで実現したことを考え、自分の言葉で表現している。 (思・判・表：学習カード・発表)</li> <li>本時の学習から市の政治の働きについて確認するとともに、問いかけをすることで、国の政治について関心をもてるようにする。</li> </ul>